

当院でできる動脈硬化の検査

検査技師 菅明子

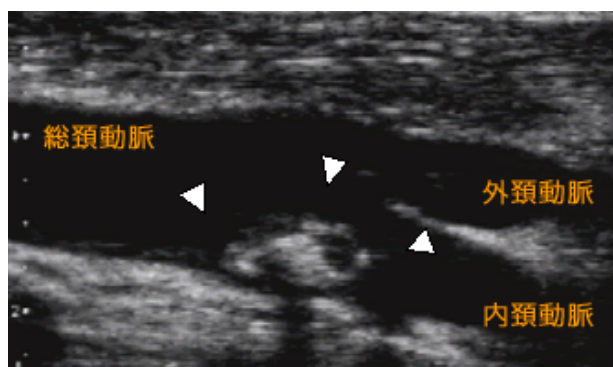
動脈硬化は最初に血管の壁の硬さが硬くなってきます。次にコレステロールなどが血管にたまり、プラークというものができます。さらに血管がプラークで狭くなってつまると、心筋梗塞や脳梗塞、閉塞性動脈硬化症などの病気に進んでいきます。

血管の硬さを調べる検査

脈波図検査の脈波伝播速度では、上腕と足首間の脈が伝わる速度を測定することにより、血管の硬さを調べることができます。血管が硬いと脈の伝わる速度は速くなります。

血管のプラークを調べる検査

頸動脈エコー検査では、プラークの有無や性状を調べることができます。



▽に囲まれたところがプラークです

血管の詰まりを調べる検査

脈波図検査の上腕と足首の血圧比で、血管の詰まりを調べることができます。健康な人の足首血圧は、上腕血圧より高いのが普通ですが、足の動脈が細くなったり、詰まっていたりすると血流が悪くなり、上腕の血圧より低くなります。

足の血管がつまる閉塞性動脈硬化症が疑われる場合は、下肢動脈エコー検査で足の血管の詰まりがないかを調べます。



脂質異常症の治療は、コレステロールの数値を下げるのが目的ではなく、動脈硬化の進行を抑えて脳梗塞や心筋梗塞になるのを防ぐことが目的です。現在の動脈硬化の状態を調べて、その状態に応じた治療をしていきましょう。

院長 永井俊一